



TITLE:

京大広報 No. 481

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 481. 京大広報 1995, 481: 920-925

ISSUE DATE:

1995-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209153>

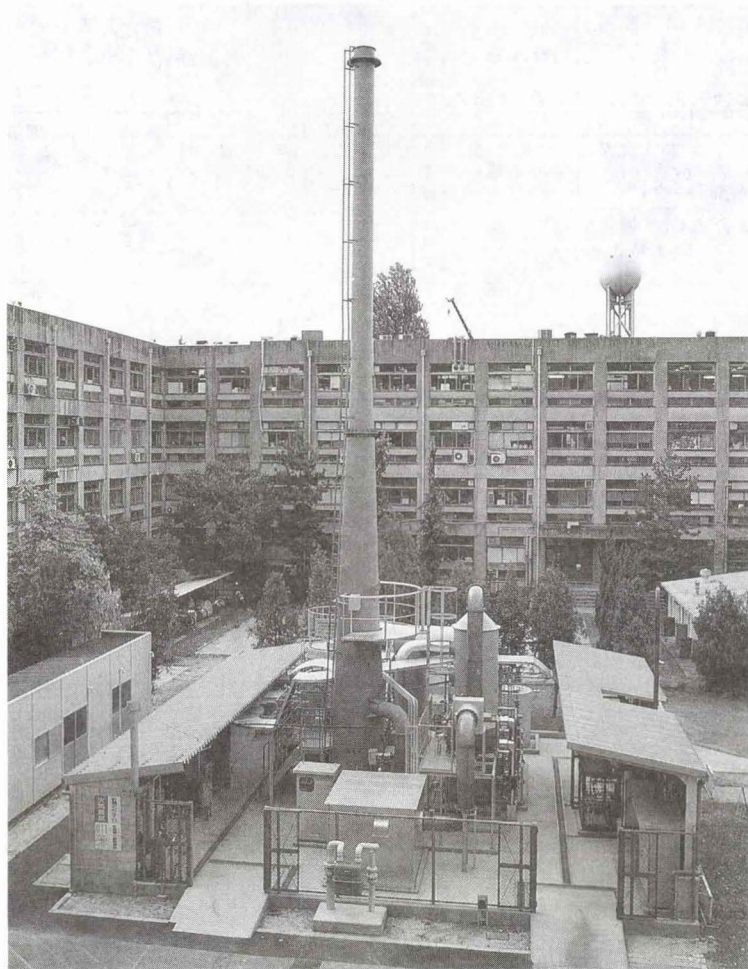
RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

京大広報

No. 481

京都大学広報委員会



全面改修された有機廃液処理装置 —関連記事本文921ページ—

目 次

＜大学の動き＞	計報	923
平成7年度特例入試の期日等	921	
＜紹介＞	＜コラム＞	
環境保全センター	欲の抑制	
—全面改修された有機廃液処理装置—	921	龍田 節…924
＜資料＞	＜随想＞	
平成6年度教育実習実施状況	922	「地震雑感」
		名誉教授 加藤 幹太…925

<大学の動き>

平成7年度特例入試の期日等

兵庫県南部地震で被災した本学入学志願者に対し、大学受験の機会の確保を図るため、平成7年度特例入試（特例の入学選抜）を行う。

特例入試は、災害救助法（昭和22年法律第118号）による救助が行われた市町村の区域内に住居

月 日	教 科	学 部	時 間
3月30日 (木)	国 語	総合人間「文系」 ・文・教育・法・ 経済「一般」	午前9時30分～ 11時30分
		総合人間「理系」 ・理・医・薬・農	午前9時30分～ 11時
	数 学	総合人間「文系」 ・文・教育・法・ 経済「一般」	午後1時～3時
		総合人間「理系」 ・理・医・薬・工 ・農	午後1時～3時 30分

又は在学する高等学校等がある者で被災した者又はこれに準ずる者で、本学の「前期日程試験」に出願し、第1段階選抜に合格したが、やむを得ない事情により受験することができなかった者を対象に、次の予定で実施する。

なお、平成7年3月27日の時点で、いずれかの国公立大学（私立産業医科大学を含む。）に合格している者は受験できない。

月 日	教 科	学 部	時 間
3月31日 (金)	外国語	総合人間・文・教育・法・経済「一般」 ・理・医・薬 ・工・農	午前9時30分～ 11時30分
	理 科	総合人間「理系」 ・理・医・薬・工 ・農	午後1時～3時 30分
	社 会	総合人間「文系」 ・文・法・経済 「一般」	午後1時～2時 30分

<紹介>

環境保全センター

—全面改修された有機廃液処理装置—

環境保全センターには、学内共同利用施設として、有機廃液処理装置（KYS）と無機廃液処理装置（KMS）が設置されており、学内の実験廃液処理用に供している。この度、有機廃液処理装置の全面改修を行うことができたので、その概要を報告する。

有機廃液処理装置は20年前（昭和49年12月）に本部キャンパスの工学部4号館中庭に設置されて以来、約60万リットルの有機廃液を焼却処理してきた。処理対象となる有機廃液は、廃溶媒が主であるが、廃液中には種々の夾雑物が混入しているため、通常のバーナーでは目づまりを起す心配がある。そこで、ロータリーバーナーを用いて噴霧燃焼している。また、廃液として、クロロホルムや四塩化炭素のようにハロゲンを含有している溶媒が持込まれる場合も多いので、燃焼時に発生する塩化水素などの有害ガスを最も効率よく中和できる湿式の排ガス処理装置を設けているのも特徴である。

さて、20年前に焼却炉を設計した際には、処理対象廃液量は年間3万リットルと見込んでいたが、最近では年間4万リットルを超えて廃液が持込まれて、運転日の割り振りにほとんど余裕のない状態となっていた。また、装置の各部分で腐蝕による損傷が激しく、早期に改修する必要が生じてきた。そこで処理能力を1.5倍に増加すべく、また、腐蝕に強い材質を多用しての全面改修工事を概算要求していたところ、幸い平成5年度の補正予算で改修を行うことができたのである。

今回の改修工事での主な改良点は、(1)処理能力を時間当たり50万 Kcal を75万 Kcal に能力アップしたこと、(2)補助燃料に排ガスがクリーンな都市ガスを採用したこと、(3)運転制御に、コンピュータを導入したこと、(4)排ガス処理部分をコンパクトにし、材質を腐蝕に強い FRP（強化プラスチック）とステンレスの組合せに変えたこと、(5)利用者の便を考え、受入れ廃液タンクを一か所に集中し、雨天時も考慮して屋根を設けたこと、(6)トリクロロエチレンなど新規制物質を含有する廃液の適正処理を試験する特殊廃液処理装置を新設したこと、(7)インバータなど省エネルギータイプの機器を多用したことなどである。特にプレハブ

小屋内に設置したパソコンは、焼却炉の主要な操作因子（廃液量、炉温、炉圧など）や排ガス成分などのデータを入力することによって、廃液処理システム全体を自動制御する機能を有しており、今回の改修の目玉と言えよう。

さて、このように有機廃液処理装置は新しくなったが、廃液の処理体制は変わったわけではない。京都大学では、廃棄物の処理の原則はあくまでも「排出者責任で行うこと」、「廃液発生原点での分別回収を行うこと」にあるので、有機廃液処理装置の利用にあたっては従来通り指導員の指導の下で、正しく安全に処理を行っていただきたい。特に、廃液持込み基準（ハロゲン含有率15%

以下、窒素含有率3%以下など）の遵守は環境保全や装置の保守の面からも、是非お願いしておきたい。

なお、最近水質汚濁防止法の改正に伴って排水基準が強化され、新たに13項目の水質項目が追加されたが、なかでもジクロロメタン（塩化メチレン）は、各キャンパスとも排水基準（0.2 mg/ℓ）をオーバーすることもあり、要注意である。従来、アスピレーター等で排水系へ放出されていたジクロロメタンは極力回収し、有機廃液処理装置にて適切に処理していただきたい。

（環境保全センター）

<資料>

平成6年度教育実習実施状況

本年度の教育実習は、36都道府県の各国公立高等学校127校、中学校29校、養護学校2校の協力を得て実施した。

1. 学部別の履修状況

区 分	学 部 ・ 研 究 科										計
	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	人間・環境	
参 加 申 込 者	72人(6)	[1]人 26	6人	6人	[2]人 40(6)	人	7人	19人(8)	33人(7)	2人(2)	[3]人 211(29)
取 り 止 め た 者	4	1		1			1	2(2)	1	1(1)	11(3)
実 習 終 了 者	68(6)	[1]人 25	6	5	[2]人 40(6)		6	17(6)	32(7)	1(1)	[3]人 200(26)

（注）枠内の〔 〕は科目等履修生、（ ）は大学院生数でいずれも内数。

2. 実習を行った学校

区 分	学 部 ・ 研 究 科										計
	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	人間・環境	
京 都 市 立 中 ・ 高 校	3人	2人	人	人	3人	人	人	人	人	人	8人
京 都 市 立 養 護 学 校	1	1									2
取 り 止 め た 者											0
京都市立学校実習終了者	4	3			3						10
出 身 中 ・ 高 校 等	68	23	6	6	37		7	19	33	2	201
取 り 止 め た 者	4	1		1			1	2	1	1	11
出身中・高校等実習終了者	64	22	6	5	37		6	17	32	1	190

3. 教科別、校種別実施状況

区 分		学 部 ・ 研 究 科										計
		文	教	法	経	理	医	薬	工	農	人間・環境	
国 語	中 学 校	1人	5人	人	人	人	人	人	人	人	人	6人
	高 等 学 校	15	8									23
英 語	中 学 校	3	1									4
	高 等 学 校	18	4		1							23
社会	中 学 校	4		3	2							9
公民	高 等 学 校	2		2	1							5
地歴	高 等 学 校	24	2	1	1							28
理 科	中 学 校					1			1	2		4
	高 等 学 校		2			21		6	8	30		68
数 学	中 学 校					2			2			4
	高 等 学 校		2			16			6			24
保 体	中 学 校											0
	高 等 学 校											0
計	中 学 校	8	6	3	2	3			3	2		27
	高 等 学 校	59	18	3	3	37		6	14	30	1	171
養 護 学 校		1	1									2
合 計		68	25	6	5	40		6	17	32	1	200

(教職教育委員会)

訃 報

辻 周 介 名誉教授

本学名誉教授 辻 周介 先生は、2月3日逝去された。享年82。

先生は、昭和10年京都帝国大学医学部医学科を卒業、同大学副手、大阪女子高等医学専門学校講師、軍事保護院医官、京都帝国大学助教授を経て昭和32年京都大学教授に就任、同50年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和43年7月から同年10月まで結核胸部疾患研究所附属病院長、同年10月から同47年10月まで結核胸部疾患研究所長として大学の管理運営に貢献された。

本学退官後は、昭和50年4月から同51年3月まで滋賀県立成人病センター嘱託等を務められた。

先生は、結核及び各種呼吸器疾患に関する基礎

的並びに臨床的研究を行って医学の進歩発展に尽力されるとともに、結核化学療法が未開発であった時代に「合成樹脂による空洞充塞術」を考案し、肺の結核性空洞の治療を試みられた。

また先生は、日本胸部疾患学会会長として同学会の運営に尽力されるとともに、日本結核病学会、日本胸部疾患学会、日本内科学会及び日本アレルギー学会等の理事・評議員を歴任された。

これら一連の研究活動、学術上の功績により、昭和59年4月には勲二等瑞宝章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(胸部疾患研究所)

横 山 寛 一 名誉教授

本学名誉教授 横山寛一 先生は、2月5日逝去された。享年64。

先生は、昭和28年東京工業大学工学部電気工学科を卒業後、同大学院理工学研究科に進学、素粒子物理学を専攻された。昭和36年京都大学基礎物理学研究所に助手として着任、湯川秀樹教授の下で場の量子論の研究を深められた。昭和38年東京工業大学助手、同41年広島大学理論物理学研究所助教授を経て、同57年同研究所教授に就任された。

平成2年同研究所と京都大学基礎物理学研究所との統合の際に基礎物理学研究所教授として転任、同5年3月、停年により退官され、京都大学

名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和60年から平成元年まで、広島大学理論物理学研究所長として、研究所の管理、運営に貢献された。

先生は、量子電磁力学、ゲージ場の理論等の研究において優れた研究業績を残され、その発展に寄与された。主な著書に、『量子電磁力学』（岩波書店）、『Quantum Electrodynamics』（共著 World Scientific Inc.）等がある。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（基礎物理学研究所）

<コラム>

洛書

人間にはすべて欲がある。食欲、性欲、知識欲、金銭欲、権力欲、名

誉欲、等々。除夜の鐘は108の煩悩を数えるという。欲があるから人間は生き、そして子孫を残すことができる。企業は業績を高め、経済は発展する。学問は進歩し、芸術は花開く。歴史は人間の欲が作り上げたもの、英雄とは人一倍欲の強い人であろう。

意欲はなければならぬ。貧欲は卑しいとされる。欲の向け方、表わし方（隠し方）、燃やす程度が人の評価を左右する。欲の持ち方、抑え方を精神面から説くのは宗教である。それを規範化し強制するのが法である。

ソリブジンという抗ウイルス剤をめぐる事件があった。抗癌剤と併用する患者が死亡した。製造元の日本商事は、その事実をすぐには公表しなかった。その間に、事情を知った会社の役員・従業員、伝え聞いた医師らが日本商事の株を売った。

最初の死亡事例が会社に届いてから7日後に、漸く会社は厚生省に報告した。会社が出荷停止を決めた時には3人、回収を発表した頃に

は15人の死者が出ていた。株を売った人たちは人でなしと非難され、医師を含む33人が起訴された。インサイダー取引という名の犯罪である。

事実が明るみに出れば、株価が下がるのは目に見えている。財産の目減りを防ぐチャンスを見すみす見逃し、株を売るなどというのはむごい話である。会社人間としては製品を一つでも多く売りたい。ソリブジンが死亡原因ではないという一縷の望みが消え去るまでは、会社の名に

傷がつくような公表は避けたい。これらは誰にでもある欲ではないか。現代人の本性にすらなっている。

しかし、人命軽視の大問題をさておいても、インサイダー取引はやはり困る。自分の努力で得た情報と違い、たまたまその立場にいたから知ることのできた情報を市場取引に利用する。素手と飛び道具の勝負、インチキ賭博に等しい。日本商事株を買った大勢の投資者は証券市場を恨むだろう。

日本がインサイダー取引と真剣に取り組み始めたのは、先進国の中では最も遅く、1988年である。無欲を尊ぶ反面、欲には甘い国民なのか。

（たつた みさお 法学研究科教授）

欲 の 抑 制

龍 田 節

